

「その情報は正確なのか」

3 菊 R.S

みなさんはテレビの情報をどれくらい信用しますか？テレビをよく見る人ならわかると思いますが、テレビにはよく「専門家」という肩書きの人が出てきます。「専門家」は主に情報の信ぴょう性を上げるために使われます。特に自分達の知らないことに関しては、人は「専門家」という言葉に弱いのです。私も、少し前までは「専門家」の言うことは絶対に正しいと思っていました。ですがついこの間、それは間違っていたと知りました。「専門家」は、とある番組で「塩パイナップル」についての解説をしていました。「塩パイナップル」は、パイナップルに海水をかけることでできたと言われている、小ぶりだが甘みが濃縮されている実のことだそうです。その番組では塩パイナップルが海水をかけてできることを前提としていて、「専門家」もそれを前提にして解説していました。ですが、そのパイナップルについて、旅先で行ったパイナップル農家に聞いてみると、

「決してそんなことはない。うちの農園は海水がかかりやすい場所にあるけど、海水がかかって生き残った株はない。塩がつかないようにするのが大変だ。」

と言っていました。その農園はけっこう長く続く農家で、ある意味「専門家」よりもパイナップルの専門家であると言えるはずです。

ではなぜ、「専門家」と「農家」の言うことが食いちがっているのでしょうか。可能性は2つあります。一つは「パイナップル農家」がまだ事実気づいていない可能性。そしてもう一つが「専門家」と番組制作者が十分に調べることなく、適当なことを言っている可能性です。前者の場合、塩に強いパイナップルが作れるようになるかもしれないということなので、パイナップルに新たな可能性が生まれます。パイナップル農家が楽に栽培できるようになるかもしれません。しかし後者の場合、その番組と塩パイナップルを肯定した「専門家」の言っていることはすべて嘘となり、彼らはサギをしているとも言えます。言いすぎだと思えるかもしれませんが、その番組を見た人が商品を買ってお金を払うことになるのですから、それはサギです。パイナップルが好きな人はともかく、普通に生活している人にはあまり関係がないかもしれません。しかし、身近なことに関してはどうでしょう。雨が降る確率は0%なのでカサは要らないと報道され、実際はどしゃ降りになった場合。株式について根拠のない憶測を言った場合。どちらもたくさんの方が被害を受けます。それくらい、メディアには大きな力があるのです。なので、報道する側には正確に報道する義務と責任を自覚してもらいたいです。「専門家」も、自分の言うことが人に大きな影響を与えるということを自覚してほしいと思います。

今まで少々報道する側に厳しく話して来ましたが、「専門家」の話だから信じていいや、と安易に信じる受け手側もよくないと思います。誤った情報を信じてそれを拡散してしまったら、被害はもっとひどいことになります。今の社会、テレビや新聞だけでなく素人も世の中に情報を流すことができるようになりました。便利だからといって、安易に情報を流したりせず、また受け取ったりせずに慎重に利用すべきだと思います。

それに関連して、この一年間の目標は便利なものの利用に慎重になることです。特にネットやSNSなどの誰でも簡単に利用できるものに気をつけて生活していこうと思います。